

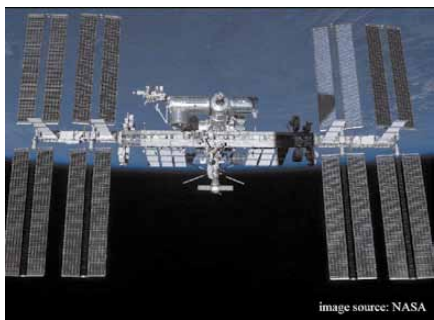


「宇宙時代のトナカイさん」

真つ赤なおハナのすごいヤツ

「二日で世界中の子どもにプレゼントを配って回るなんて、サンタさんはどうしてそんなすごいことが出来るの?」と尋ねられたお父さん、答えていわく「いやいや、本当にすごいのはトナカイさんだよ!」

…というジョーク(?)を聞いたことがあります。実は、一日で世界中の子どもの家を訪問する超高速のトナカイさんほどではないかもしれませんが、かなりのスピードで移動しながら世界中の子どもたちに夢と希望を与えている、スゴ技のモノは実在します。子どもだけでなく大人にも、素晴らしい科学的成果をもたらしてくれているそのモノとは…!?



国際宇宙ステーション
日本から良く見える日程は、宇宙航空研究開発機構 JAXA のホームページで確認できます。
(<http://kibo.tksc.jaxa.jp/>)

宇宙への架け橋 ISS

11月7日、日本人宇宙飛行士の若田光一さんを含む3人のクルーが、国際宇宙ステーション ISS に無事到着しました。地上約400キロメートルにあり、およそ90分で地球を一周している ISS のスピードは、秒速8キロメートル。日没後、きらめく ISS がすーっと夜空を横切っていくさまは、素晴らしい眺めです。高速で移動しながら、その輝きを見上げる子どもたちに(大人にも!)、夢と憧れというプレゼントを配っているのです。まるで宇宙時代のサンタとトナカイみたいじゃありませんか?

若田宇宙飛行士は、来年5月まで ISS に滞在の予定です。機会がありましたらぜひ、宇宙ステーションを見上げてみてくださいね。



蒲郡市博物館は、灯火具(あかりの道具)を多数所蔵しています。それらは学術上高い価値を有することから、国の重要民俗文化財に指定されています。

博物館が持っている灯火具の多くは、かつて岸間芳松さん(明治22年生まれ、昭和41年死去、77歳)という方が集めたものです。岸間さんは、市内在住の郷土史研究家で、地元の歴史を調査・研究するカタワラ、あかりの道具の収集に余念がありませんでした。

岸間さんは、めずらしい灯火具があると聞けば、東北でも、九州でも、日本のいたるところにおもむいて、お目当ての品を探し求めたそうです。しかし、やっと見つけた灯火具が、値段が高くて買えなかった時などは、くやしくてたまらず、なんとかお金をかき集め

～博物館の灯火具コレクション～

て、「絶対に手に入れてやろう」という強い意気込みでもう一度かけたということです。

そのようにして収集された岸間さんの灯火具は、現在、博物館の1階、岸間コレクションのコーナーにおいて展示されています。「国内に並ぶものがない」と言われるくらいの著名かつ貴重なコレクションであることから、蒲郡市博物館には、他の博物館・美術館から、「古美術の展覧会を開催するので、ついでに岸間コレクションをぜひともお借りしたい」といった依頼が、今もたびたびきます。

岸間さんが集めた灯火具は、昔のくらしを考えるうえで、かけがえのない大切な資料です。皆さんも、ぜひご覧ください。



灯火具(織部焼きの逸品)